

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会（第189回）」の開催

新しい年がスタートし、気持ちも新たにされていることでしょう。明日1月13日からは、大学入学共通テストが宮崎大学でも実施されます。会場準備が着々と進められていますが、受験生が平常心で試験に臨めることを願っています。

さて第189回の「語る会」では、宮崎南高校の那須先生に、昨年の2学期に実践された食生活にかかわる授業についてご紹介いただきます。今回はZoomのみでの開催となります。遠方の方も小・中学校の先生方もどうぞお気軽にご参加下さい。お待ちしております。

- 日時：2024年1月20日（定例の第3土曜日） 午後2時から午後4時（参加費：無料）
- 場所：下記のアドレスに接続下さい↓
<https://miyazaki-u-ac-jp.zoom.us/j/83100456711?pwd=0E9EUUZ6Zkp4WFRLd2Z4a25CT3lDQT09>
 ○ミーティングID: 831 0045 6711 ○パスコード: &8q.XLci
- 話題：高校家庭科食生活の実践
- 話題提供者：那須のぞみ（宮崎南高等学校）

「家庭科の授業を語る会（第188回）」（2023年11月18日）の報告

○話題：高等学校家庭科における金融教育についての検討

○話題提供者：梨岡さくら（宮崎大学4年生）

第188回の語る会では、卒業論文の中間発表として、学部4年生の梨岡さんに高校家庭科での金融教育の位置付けについて考察してもらい、家庭科における投資等の取り扱いについて参加者と一緒に検討しました。今回は他教科専攻の4年生も参加し、教科を超えた金融経済教育の検討となりました。

まず、金融経済教育推進会議が示した「金融リテラシー・マップ」での小・中・高校生を対象とした内容をふまえた上で、高等学校学習指導要領・家庭科「家庭基礎」の内容と照らし合わせました。リテラシー・マップに示された内容は「家庭基礎」の「A 人の一生と家族・家庭生活及び福祉」と「C 持続可能な消費生活・環境」にまたがっていることが示されました。梨岡さんは、さらにその指導要領の内容のキーワードを抜き出して「社会との関わり」、「生活設計」、「適切な意思決定」というグループにわけ、金融教育を生涯を見通すための教材として位置付けていました。高校の先生から「社会との関わり」については、包括的に関連させて考えた方が良いのではという意見が出され、その方向で内容を整理していくことになりました。参加したみなさんのアドバイスも受け、卒論の更なるブラッシュアップが期待できます。今後は、内容AとCを融合させた具体的な題材構成や授業の提案を目指すことになりそうです。

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp

大矢 英世（教育学部）：Tel/Fax 0985-58-7542（直通）

：メールアドレス hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp

- 「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>
- 旧Twitter：fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために <https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi>